

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)

【公開番号】特開 2000-40472 (P2000-40472A)
 【公開日】平成 12 年 2 月 8 日 (2000.2.8)
 【出願番号】特願 平 11-141449
 【国際特許分類】

H 0 1 J 11/02 (2006.01)
C 0 3 C 8/18 (2006.01)
C 0 3 C 8/24 (2006.01)
H 0 1 J 9/02 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 11/02 B
 C 0 3 C 8/18
 C 0 3 C 8/24
 H 0 1 J 9/02 F

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 18 日 (2006.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 基板上に隔壁を有するプラズマディスプレイであって、隔壁の X Y Z 表色系における刺激値 Y が 20 以下であり、かつ隔壁頂部の長手方向の凹凸が $0.5 \sim 10 \mu\text{m}$ であることを特徴とするプラズマディスプレイ用部材。

【請求項 2】 基板上に隔壁を有するプラズマディスプレイであって、隔壁が少なくとも 2 層からなり、隔壁上部の X Y Z 表色系における刺激値 Y が 20 以下であり、隔壁頂部の長手方向の凹凸が $0.5 \sim 10 \mu\text{m}$ であり、かつ隔壁下部が白色または透明であることを特徴とするプラズマディスプレイ用部材。

【請求項 3】 隔壁の反射 OD 値が 1.3 以上であることを特徴とする請求項 1 または 2 記載のプラズマディスプレイ用部材。

【請求項 4】 隔壁がガラス転移点 $450 \sim 550$ 、軟化点 $500 \sim 600$ であるガラス材料で構成されていることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか記載のプラズマディスプレイ用部材。

【請求項 5】 隔壁が、ガラス転移点 $450 \sim 550$ 、軟化点 $500 \sim 600$ であるガラス材料 50 ～ 90 重量%と酸化チタン、アルミナ、チタン酸バリウム、ジルコニア、コーディエライト、ムライトおよび高融点ガラス材料からなる群から選ばれた少なくとも一種からなるフィラー 10 ～ 50 重量%を含有することを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか記載のプラズマディスプレイ用部材。

【請求項 6】 隔壁が、Ru、Mn、Ni、Cr、Fe、Ti、Co、Cu、Pb、または Bi の金属もしくはそれらの酸化物が合計で 3 ～ 20 重量%含有することを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか記載のプラズマディスプレイ用部材。

【請求項 7】 隔壁上部に含有されるガラス粉末の軟化点が、隔壁下部に含有されるガラス粉末の軟化点より $10 \sim 50$ 低いことを特徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれか記載のプラズマディスプレイ用部材。

【請求項 8】 請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載のプラズマディスプレイ用部材の製造方法で

あって、ガラス微粒子と有機成分を含むガラスペーストを用いて基板上に隔壁を形成し、少なくとも隔壁の上部を形成するために用いるガラスペーストに含まれるガラス粉末の平均粒径が $1.5 \sim 4 \mu\text{m}$ 、最大粒子径が $10 \mu\text{m}$ 以下であるプラズマディスプレイ用部材の製造方法。

【請求項 9】 請求項 1 ～ 7 のいずれか記載のプラズマディスプレイ用部材を用いたことを特徴とするプラズマディスプレイ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また本発明は、基板上に隔壁を有するプラズマディスプレイであって、隔壁が少なくとも 2 層からなり、隔壁上部の X Y Z 表色系における刺激値 Y が 20 以下であり、隔壁頂部の長手方向の凹凸が $0.5 \sim 10 \mu\text{m}$ であり、かつ隔壁下部が白色または透明であることを特徴とするプラズマディスプレイ用部材である。